

科目名	大学入門						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	必修	1	1	前期			
担当者名	学科担当教員	関連する資格					
授業概要 大学での学びは、高校までの「生徒」とは異なり、大学生として自ら興味を持ち、積極的に、楽しく学ぶ能動的・主体的な態度で臨むことが求められる。本学の建学の精神を理解し、授業の受け方やノートの取り方、レポートの書き方、情報収集や資料の整理法といった具体的な学びの技法を身につける。また、大学生活を有意義に過ごすために社会人としての基礎知識や常識、マナーについて知ることを目的とする。							
到達目標 ・本学の建学の精神を理解し、述べるができる。 ・授業の受け方やノートの取り方、レポートの書き方、情報収集や資料の整理法といった具体的な学びの技法を習得し、実際の授業で実践する。 ・社会人としての基礎知識や常識、マナーについて知り、大学生活の中で活用する。				成績評価方法 レポート課題と毎回の授業レポート、及び授業参加度、課題発表を総合的に評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○			10
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) 大学入門オリエンテーション							
2) 大学で学ぶこととは？							
「授業の受け方とシラバス活用法」							
3) 大学生の健康管理について							

4) インターネットを安全に利用するために	
5) 未定	
6) 消費者教育講座	
7) 学長講義	
8) 学びの技法Ⅰ 「ノート&レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」	
9) 学びの技法Ⅱ 「ノート&レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」	
10) 学びの技法Ⅲ 「ノート&レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」	
11) 学びの技法Ⅳ 「ノート&レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」	
12) 定期試験対策ガイダンス	
13) 「人として生きていくためのマナーとは」 ①社会人となるための心構えとマナーについて	グループワーク
14) 「人として生きていくためのマナーとは」 ②挨拶や言葉遣い・身だしなみ等について	グループワーク
15) 夏休みの過ごし方・後期授業に向けて・学生生活実態調査実施	
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
藤田哲也編著 「大学基礎講座」北大路書房 2013年2月 磐田年浩著「社会人になって成功する大学生活術」アートビレッジ 2014年11月	キャリアデザイン
備考	
<p>受講の心得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをもってグループ討議に参加すること. ・本授業で学んだ学習方法を積極的に授業に取り入れること. ・レポート課題を提出すること. 	